



## 【創業10周年記念】ギャラリー新設およびメセナ活動の展開について

2020年10月7日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、創業10周年記念事業として、当社八重洲ビル(東京都中央区)に美術品の展示を行うギャラリーを2020年12月15日\*にオープンします。日本の文化芸術の継承と発展のため、メセナ(芸術・文化の支援)活動の拠点として活用していきます。

\* 一般公開は2020年12月16日からとなります。

### 1. 背景

当社は、前身会社の一つである大東京火災海上保険の創業者が椿を愛好し、社花としたことから椿をテーマとした日本画、洋画、工芸品など約300点の作品を所蔵しています。これまで四半世紀にわたり、所蔵している作品を全国の美術館へ無償で貸し出すことを通じ、地域の文化芸術振興に貢献してきました。

今般、創業10周年を迎えるにあたり、所蔵コレクションの公開のみならず、さらなる文化芸術振興を目指し、若手の日本画家を対象とした発表の場の提供、また地方大学の卒業作品展示や地方と連動した企画の実施により地方創生を推進するべく、鑑賞者に広く公開された場としてギャラリーを開設します。

### 2. ギャラリー概要

#### (1) 名称: UNPEL GALLERY (アンペルギャラリー)

当社が保有する作品のテーマである椿の花言葉“気取らない優美さ”、「UNPRETENTIOUS ELEGANCE (アンプリテンシャス エレガンス)」を語源とし、上質な企画展示を目指すこと、多くの方々に気軽に訪れていただきたいという願いを込めています。

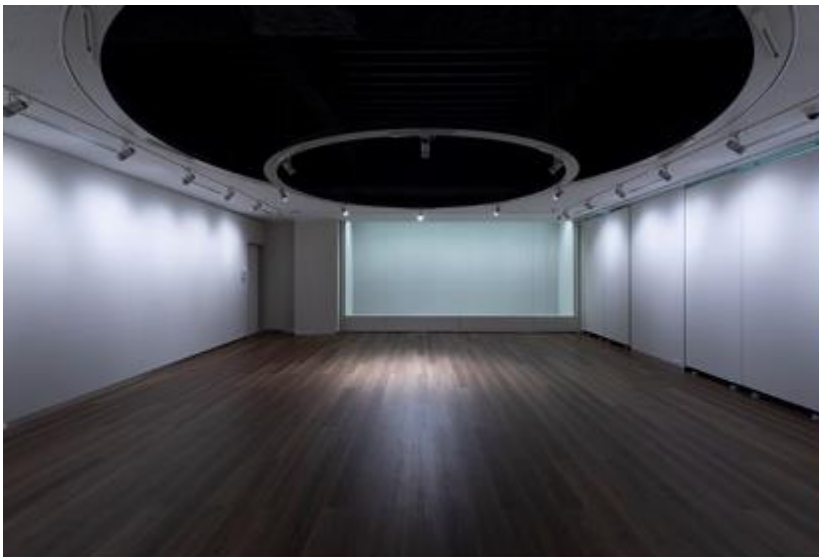
#### (2) ロゴ:



(3) 所在地 : 東京都中央区日本橋3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

(4) 展示室 : 床面積 82.8㎡ 天井高 2.7m

(5) 営業時間: 展覧会開催期間中 11時~19時 (火~日開廊、月休)



### 3. オープン記念展

UNPEL GALLERY のオープンを記念し、当社所蔵の「椿絵コレクション展」を開催します。展示会前期は、蕾と大輪の花を共に描いた横山大観や小倉遊亀などの原画を中心に展示。後期は、江戸時代の尾形光琳や竹久夢二、岸田劉生など近代の個性派画家たちが描いた椿絵が並びます。

- ①前期展示「椿咲くー初々しさを秘めた成熟に向けて」 2020年12月16日（水）～25日（金）
- ②後期展示「新春椿絵名品展示ー琳派の花 近世から近代へ」2021年1月8日（金）～24日（日）

### 4. 今後の展開

UNPEL GALLERY では、当社が所蔵する椿絵コレクションの展示のみならず、全国で行われている公募展優等者の個展、美術大学卒業生の作品展、災害の記憶伝承を目的とした当社近世・近代災害史コレクションの展覧会を開催する等、個性豊かなメセナ活動を展開していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

